

# 協賛企業賞



田端 友奈  
吾野の獅子舞



メルビー リサ  
氷川参道  
〜コーヒー片手に  
お散歩しませんか?〜



土田 さくら  
緑の美しい新座!!



薬師神 杏美  
さいたま市の公園



西澤 沙耶香  
ひよっこり  
パブリックアート  
いっぱいなまち



山縣 ひな  
tocoバスで行く!  
戸田湯めぐりツアー



藤井 小日菜  
教育のまち戸田  
〜充実した子育て支援と  
地域の交流〜



山口 和桜  
90年時の時を越えた  
嵐山町さらなる魅力



村上 惺南  
イカすぜ!北浦和駅



山本 麻奈  
中山道桶川宿



# 埼玉住み心地の 第14回 良いまち大賞

審査委員長 講評

今年、2019年ラグビーワールドカップの試合会場となる県営熊谷ラグビー場が新装オープンしました。来年のラグビーワールドカップで、素晴らしい試合が繰り広げられることを心から楽しみにしております。

さて、埼玉住み心地の良いまち大賞も、今年で14回目になりますが、今年度の応募作品も、今までになかった手法でまちを表現した作品や、自分の住むまちを積極的な手法で調べた作品が多数ありました。

このような、自分たちが慣れ親しんでいるまちを少し違う角度から見る経験は、まちの良さを再発見するうえでとても有意義なものになると思います。

「第14回埼玉住み心地の良いまち大賞」で埼玉県知事賞に選ばれた作品は、森 香南子さん（中学2年生）の「五感で感じる COOL SPOT in 熊谷市」です。また、埼玉県教育委員会教育長賞に、清原貫永さん（小学6年生）の「文化あり 自然あり 吾野地区」、協議会会長賞に、村上 煌宙さん（小学2年生）の「だいすき北浦和公園ビンゴ!」、後藤 愛江さん（中学1年生）の「うなぎの街 浦和区」そして、審査委員長賞には加島 彩雲さん（小学6年生）の「1300年の歴史 小川和紙」、野中 陽生さん（中学2年生）の「BACK TO THE 江戸 in 川口」が選ばれました。

埼玉県知事賞に選ばれた森さんの作品は、日本一暑い熊谷市を取り上げて、暑さという不快なものをどうやって楽しむかについて、「五感」で切り分けて紹介するという、若く新しい感覚のある作品でした。

埼玉県教育委員会教育長賞に選ばれた清原さんの作品は、地域を俯瞰して地理的な描写が非常によく出来ており、吾野のアイデンティティが良く紹介されている作品でした。

森さんや清原さんの作品のみならず、入選した全ての作品には、まちの魅力を見つけるためのヒントが描かれています。皆さんも作者の発見したまちの魅力を、その目で確かめてみてください。もしかすると、作者も気が付かなかった新たなまちの魅力を発見できるかもしれません。

今年は、過去最高の2,851点の応募があり、平成17年の第1回目から今年の第14回目までに、16,395点のご応募をいただきました。

これは、埼玉が魅力溢れるところであることを示すものです。そして、なにより、作成者が発見した「良いまち」を私たちに届けてくださる小学校、中学校の先生や親御様、協賛企業の皆様のご支援・ご協力があってこそその結果です。

これからも、埼玉県住まいづくり協議会の活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

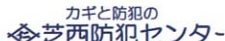
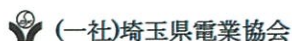
平成30年10月27日

審査委員長

埼玉新聞社代表取締役 小川 秀樹

後援 埼玉県 埼玉県教育委員会

協賛



平成31年2月発行